大庭みちよし 後援会 ニュース

Ohba Michiyoshi kouenkai News

No.176
2019
春号

今年9月28日、10月4日、10月9日、10月11日、の4日間にわたり、袋井のエコパスタジアムで世界の祭典、ラグビーワールドカップ2019が開催される。この大イベントに世界から見えるお客様や、市内外からの観戦客皆様を対象におもてなしゾーンの設置や様々な催しが計画されている。写真は昨年6月のラグビー日本代表戦×アイルランド代表戦のようすだが、今年の秋はエコパの満席の会場から割れんばかりの歓声が小笠山にこだまする。

「令和」元年、２０１９年度を迎えて

心地良い季節になりました。後援会の皆様、お元気にてお過ごしのこととお慶び申し上げます。日頃より大庭後援会には格別のご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

ところで、４月１日、新たな元号「令和」の発表がありました。今年は２月に今上天皇の在位３０年式典、４月３０日に天皇退位、５月１日新天皇即位、１０月には即位礼正殿の儀やパレードが予定されるなど、慶祝行事が続きます。市内でも5月１日には新元号を御祝いし、一部の自治会では屋台が引き回しがされるなど、まさに御祝いムードの中、新たな時代の幕開けです。

新元号「令和」は、万葉集巻５の一節「初春令月」「気淑風和」の初春の佳き月に、気淑く風は和らいで・・、より「令」「和」が引用されたようですが、「人々が美しく心を寄せ合う中で、文化が生まれ育つ」という意味のとおり、新しい文化の花開く希望がもてる時代になればと思います。

さて、そんな新たな令和元年度予算がスタートしました。今年度の重点政策は１つ目に人材の育成、２つ目に多様性を活かす、３つ目にＩＣＴ技術の導入、これら３つを基本に据えて、５つの施策提案がされました。それは、①「ラグビーワールドカップ２０１９」を活かしたまちづくり、②「質の高い教育」の実施、③多様性を活かしたまちづくり、④ＩＣＴ活用によるまちづくり、⑤市内産業野活性化、これら５つの柱をもとに各種の事業が展開されますが、２月定例議会では、こうした主要テーマに基づいた様々な事業について、多くの議論が交わされました。

ご案内のように、昨今、行政を取り巻く環境は人口減少、少子高齢化など大変厳しいものがありますが、幸い本市ではそうした中にあって、人口は微増、また、高齢化率も県下３５市町のうち、２番目に低いなど、恵まれた環境下にあります。これも、先人諸氏のこれまでのまちづくりのお陰であり改めて感謝を申し上げたいと思います。

いよいよ平成に変わって令和の時代の始まりです。引き続き確かな行政が展開出来るよう、市民皆様共々に力を合わせ頑張っていかなければなりません。私も頑張ります。

どうぞ倍旧のご指導、ご支援の程よろしくお願い申し上げます。

袋井市議会議員
大庭通嘉

２月定例会　議会報告

2019年度の一般会計予算339億6,000万円（全年度対比５％増）が示される

□ ２月定例会開会

平成31年度２月定例会は、さる２月25日に開会し、右表の一般会計をはじめ30議案が市長より、また、議会からは1件の議案が提出され、それぞれ審議の結果、可決承認され、3月22日に26日間の会期を閉じました。

□２月議会で提出された主な議案

- 平成31年度袋井市一般会計予算について
- 平成31年度袋井市国民健康保険特別会計予算について
- 袋井市老人福祉センター条例の一部改正について
- 袋井市運動施設条例等の一部改正について
- 袋井市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等の特例に関する条例の制定について

ほか　市長提出議案２６件　全議案承認可決　（全31議案）

□ 市政の運営方針

新年度は総合計画前期計画の4年目（最終年）施策効果の最大化を図る！

ー多様性を強みとするまちをめざすー

（重点施策）Ⅰ　人材育成　Ⅱ　多様性　Ⅲ　ＩＣＴ活用　　を基本に据え

①「ラグビーワールドカップ２０１９」を活かしたまちづくり

②「質の高い教育」の実施　③多様性を活かしたまちづくり

④ＩＣＴ活用によるまちづくり　⑤市内産業の活性化

の５つの柱で進める

□平成31年度予算の概要（歳入）

平成30年度の一般会計は右表のように、339．６億円で前年比5.0％増、また、特別会計、企業会計を合わせた総額は554.2億円で3.4％増となりました。歳入のうち市税は前年比2.4％増の152.7億円の計上となりました。

また、地方交付税は3億円、15％減の17億円、市債は6.4億円、15.8％増の47億円となりました。これにより実質公債比率は７％程度、（例：家族全員の１年間の借金返済額が給与収入に占める割合）と減少傾向に、また、地方債減債高（借金）は約25.4億円増加した296.5億円となります。なお、経常収支比率が92％程度と目標90.0％を2％程度上回っており財政の硬直化状況にあります。

□ 主な事業の概要

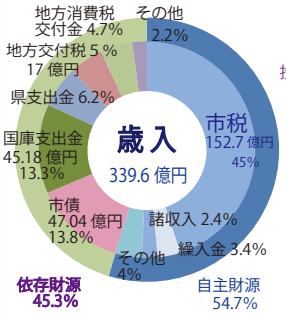
事業の主なものとして、２月定例会に提案された議案は、旧パイオニア駐車場跡地に新総合体育館が建設され、今年12月にプレオープンします。また、上水道の水道管耐震化や下水道の処理場の整備が行われます。新消防庁舎＆袋井防災センターは2020年4月オープンの予定で建設が進められます。

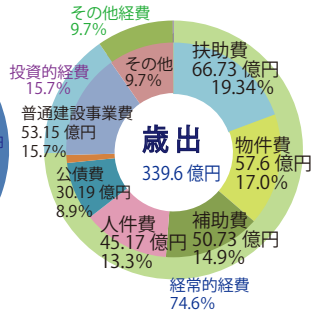
街路事業は、諸井山手線、田端宝野線などが行われます。袋井駅南の事業は4月120人定員の保育園がオープン、さらにメディカル地区には整形外科、心療内科、循環器などの医院が開業し、引き続き誘致を進めます。商業施設は2020年4月開業予定で事業が進められます。西コミセン(旧西公民館)が2021年4供用開始の予定で今年度建設着手されます。放課後児童クラブは西小学区に完成し、市内には20クラブ、1,247人の定員となります。公共交通の維持では自主運行バス、デマンドタクシー、地域協働運行バスを組み合わせたスクラム型の公共交通を実施していきます。

また、治水対策事業として松橋川、油山川の改修や、袋中の校庭貯留を実施します。多文化共生では現在、外国人が4.82％県下3番目に多く、講演会など様々な事業を開催していきます。ＪＲ袋井北口にホテルが建設され2020年3月竣工が予定されています。

ＩＣＴによる教育推進では従前のコンピュータからタブレットに順次更新していきます。また、土橋地区への企業誘致を図るため、可能性調査を実施します。震災対策として住宅耐震化95％を目標に啓発をすると共に、ブロック塀の改修促進を行います。家庭用蓄電池：6万円など新エネルギー機器導入の奨励金を交付します。学力向上に向け小3～小5を対象に漢字・算数検定導入や袋井版学力調査を実施します。

□ 袋井市 2019 年度 一般会計予算





〈単位：万円＆対前年増減率％〉

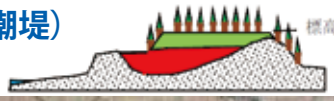
一般会計		3,396,000	5.0
特別会計		万円	%
	国民健康保険	805,000	2.1
	後期高齢者医療	77,000	3.4
	介護保険	543,500	0.2
	公共下水道	240,400	▲2.9
	農業集落排水	2,490	▲14.1
	駐車場	12,400	106.7
	墓地	4,040	▲26.5
	小計	1,684,830	1.0
企業会計			
	水道	267,900	8.2
	病院	193,500	▲7.3
	小計	461,400	1.1
		5,542,230	3.4

□ 2019年度 主な事業一覧

事　業	事業費
総合体育館整備事業	19億2848万円
上下水道の施設整備	13億7884万円
袋井消防庁舎整備事業	7億3,815万円
街路整備事業	4億4767万円
袋井駅南まちづくり事業	4億1651万円
西コミュニティセンター整備	2億864万円
放課後児童クラブの充実	1億5805万円
公共交通の維持	1億2392万円
治水対策事業（松橋川等）	9430万円
多文化共生のまちづくり	7338万円
JR袋井駅北口活用促進	7500万円
ICTを生かした教育の推進	5430万円
袋井幸浦の丘プロジェクト	5200万円
企業誘致（土橋等）	4332万円
住宅耐震・ブロック塀改修	3938万円
新エネルギー機器導入	1835万円
ラグビーwカップ事業	1450万円
小学校学力対策向上事業	1381万円

■袋井幸浦プロジェクト事業（浅羽海岸防潮堤）

浅羽海岸の津波対策として、全長5.35kmのうち県とH26.12に4kmの事業締結をし、また、H29.12に4.24kmに変更して事業を進めています。今年度中に市の施工部分として標高10mで、4.1km、全体の8割の完成をめざして整備をします。



←防潮堤断面：高さ 12m
緑は県施工 ２m
赤は市施工10m

2019.1の浅羽海岸
↓

大庭の市政に対する「質疑」から

■ラグビーワールドカップ2019

問　今年度９月28日、10月４日、９日、11日にエコパでラグビーワールドカップ2019が開催される。本市でもこれまで様々な準備をしてきているが、今年度予算でも2800万円の予算計上がされている。

具体的にどのような事業を考えているか。

答　ラグビーを普及するための小学生へのタグラグビー教室の開催や、５月にはエコパを会場に2000人規模のキックとトライに関する関するラグビーイベントの開催を予定している。

本戦を前に5/11にイベント開催が予定される

また、国内外からの観戦客が試合当日、愛野駅周辺で快適に過ごすことが出来るようにするための環境整備や、愛野駅周辺店舗と連携したおもてなしづくり、さらには、エコパでの対戦国となるアイルランド、南アフリカ、イタリアなどの文化や名物料理に触れる機会を提供する事業も考えている。

また愛野駅からエコパまでを、観戦客や地元住民などに、にぎわいやおもてなしを提供する事業も予定している。

県の試算では各試合２万人前後の観戦客が愛野駅を利用し、観戦客が訪れるのを見込んでいる。

にぎわいが期待される愛野駅

本市としては、全国、世界からのお客様に対しエコパへの玄関口、袋井市への玄関口となるこのエリアが、袋井市をＰＲする絶好の場所と機会となることを確信している。

試合開催の４日間において、愛野駅周辺でのにぎわいづくりの必要性が認められ、おもてなしエリアの設置に至った。。

県の計画案では、愛野駅からエコパまでの間や、愛野駅南口東側公園、及び市営駐車場などの三つを区分して、それぞれ試合開始３時間前から試合終了１時間半後まで、各日おおむね６時間程度のイベントの実施をし、飲食物の提供、沿道への装飾などを計画している。

具体的には、愛野駅南口を含む上石野公園及び市営駐車場エリア約9,500平方メートルには、観光ＰＲなどを含むインフォメーションセンター、市民の皆さんがパフォーマンスを演じるためのミニステージ、市内の商業者による御当地グルメ、特産品ＰＲコーナーの出店、茶道や着つけを体験できる日本文化体験コーナーなどを設置し、愛野駅前から試合会場までが一体となったわくわく感を感じることができる雰囲気づくりに取り組みたい。

エコパへの沿線道路には、出場国の国旗や大会バナーなどの装飾やストリートパフォーマンスによる出迎え、外国人観戦客は観戦中だけでなく、試合の前後にも多くのビールを飲む文化があるため、民間の結婚式場と連携しオープンガーデンを創出する。

エコパ内においては、地域産業ＰＲコーナーやミニステージなどの展開を計画する。また、試合終了後には、ふくろい遠州花火の打ち上げを毎試合計画している。

大会では花火も打ち上げられる

さらには、愛野駅南口ロータリーに設置したラグビーボール型巨大モニュメントによるＰＲや、愛野駅自由通路に設置するデジタルサイネージによる市内観光・映像イベント情報の提供や、歓迎横断幕の自由通路天井への設置なども行いたい。

また、袋井の祭典屋台の展示については、エコパ開催４試合のうち、第４戦の10月11日が、市内の秋の祭典と重なることから、展示を行う。

愛野自治会連合会に対して参加の協力を打診した結果、土曜日の９月28日には５自治会、５台の屋台、祭典初日となる10月11日金曜日には２自治会、２台の屋台の参加についても、現在本格的な協議を行っている。

屋台展示も検討されている

■新総合体育館完成

問　今年12月には新袋井総合体育館「さわやかアリーナ袋井」のプレオープンが予定されている。具体的にどのように進めるか。

さわやかアリーナ袋井12/1プレオープン

答　プレオープン後の運用は12月から来年３月までの期間、市民の皆様に知っていただく機会と捉え、施設の内覧会やトレーニングマシンやキッズルームの無料体験利用、さらには、スポーツ、健康、笑い、食、エンタメ、防災をテーマにした開館記念イベントや、有名スポーツ選手による特別講演会や実技指導など、さまざまなイベントの開催を予定している。

プレオープン期間における大会開催については、期間中の施設予約については、スポーツ協会の主催する大会は、優先して予約受け付けを実施する。

カフェについては12月のプレオープンに合わせ、現在準備を進めている。スターバックス進出については良い返事が貰えていないが、早くスターバックスの進出の結論を出して欲しいという申し入れを現在している段階である。

■白雲荘問題

問　今年度からシニアクラブ袋井市が指定管理をし、白雲荘利用者から利用料金を徴収する。赤字の場合は市が補填するのか。

白雲荘の利用料金が徴収される

答　収支シュミレーションではバランスが保たれていると考えているが、シニアクラブのクラブ数や会員数の減少などの要因も考慮し施設が活性化されるように支援したい。

シニアクラブ袋井市への白雲荘の運営に係る人的支援を継続的に行い、指定管理における財務状況を把握した中で、必要に応じて支援のあり方を検討したい。

□ 新小型はしご付き消防ポンプ自動車導入

導入された新はしご車

平成7年に導入したはしご車の老朽化に伴い、新たに昨年暮れに新型の小型はしご付き消防ポンプ車を導入（8742万円）しました。これまでの30m級のはしご車に比較して、今回のはしご車は13mと高さも低く、消火能力的低下は否めません。議会でも、この問題が議論されましたが、導入経費では整備費が30m級が1.84億円に対し、13m級では0.93億円、またランニングコストや国の補助金等合算による経費の比較をすると、トータルで1.86億円も安いこと、さらに、袋井・森管内で対象高層建築物が265棟の内、245棟の92.5％の建物の消火活動が13m級でもカバーが出来ることなど様々な点を考慮し、この決定に至りました。

なお、6階以上の建物は管内に20棟ありますが、当該対策としては、磐田市との協定を結び対応していきます。

□ 浅羽佐喜太郎記念碑除幕式

浅羽佐喜太郎記念碑除幕式

3月16日、浅羽佐喜太郎記念碑の除幕式がＪＲ袋井駅北口において行われました。昨年は浅羽佐喜太郎の公碑建立100年の式典が行われ、また、浅羽佐喜太郎特別展も近藤記念館で開催されました。さらに、天皇皇后両陛下の行幸啓もいただくなど、本市にとっても、大きな節目の年でありました。

明治38年、ベトナム独立運動の指導者「ファンボイチャウ」は、日本にベトナムの窮状を訴え、援助を求めて来日しましたが、日本政府は援助することなく、フランス政府の要請を受けてベトナム人留学生への圧力を強めました。窮状を知った本市梅山出身の医師、浅羽佐喜太郎は大金を与えて励ましました。その後佐喜太郎は亡くなり、その死を知ったファンは、感謝の気持ちを表すために、佐喜太郎の菩提寺に紀年碑を建てました。

□ 袋井西コミュニティーハウス第２竣工

西コミュニティーハウス竣工

3月25日、西コミュニティーハウス第２（放課後児童クラブ定員100人）の竣工式が行われました。西小学校区ではこれまで急速に増加した放課後児童クラブの需要に応えるため、小学校グランド内に仮設の施設を建設して対応していましたが、このたび４月からの６年生まで受け入れる施設を整備しました。

竣工式当日は、子ども達全員が剣玉の技を披露するなど、日頃の児童クラブにおける子ども達の生活の一端も紹介されました。袋井では平成21年に全小学校区に児童クラブを設置して以来、利用者が増え続けてきましたが、平成30年度の東小と今回の西小の整備で市内学区、全てが整備され、1247人の子ども達を受け入れることになりました。入所者の最も多い施設は235人の袋井北小、次いで山名小の219人となっています。

□ ＪＲ袋井駅北口ホテル建設

ＪＲ袋井駅北口ホテル

中心市街地活性化のため、ＪＲ袋井駅北口にホテルが建設されます。この建設される施設内に袋井商工会議所も入り、複合施設として来年4月供用開始予定です。現在の市営駐車駐輪場約3072㎡の一部約1700㎡を商工会議所に有償貸与し、商工会議所は、「どまんなか袋井まちづくり（株）」に貸与し、同（株）はホテル経営する（株）ＫＴＳにホテルを運営委託をする計画です。これに伴い、現在の商工会議所の事務所を160,000千円で購入し、新商工会議所建設補助として75,000千円（内県補助25,000千円）を拠出、一方、市には土地貸代分の約3,500千円弱の収入や固定資産税10,000千円等が収入されます。今後、市駐輪場の不足分は、駅南側に400台の駐輪場を建設、駐車場の不足分は、駅北天理教の土地を代替駐輪場として当面運用する予定です。

ちょっと、こぼれ話

袋井中にある万葉歌碑

新元号「令和」の典拠は万葉集と言うことです。袋井にもある万葉歌碑を尋ねてみては如何ですか。
袋井には袋井中学校（写真）と浅羽の図書館、浅羽梅山の八幡神社に全部で4首あります。

「時々の花は咲けども何すれそ　母とふ花の咲き出来ずけむ」　防人山名郡丈部真磨（はせつかべのまろ）　袋井中学
「遠江白羽の磯と贄（にえ）の浦と　あひてしあらば言（ごと）も通はむ」　防人山名郡丈部川相（かわい）　袋井中学
「紅の　浅葉の野らに　刈る草（かや）の　束の間も　我れを忘らすな」　作者不詳　浅羽図書館
「浅葉野に 立ち神さぶる 菅（すが）の根の　ねもころ誰がゆゑ 我が恋ひなくに」　作者不詳　八幡神社

このうち、とくに袋井中学にある2首は、遠江に防人の歌が7首あるうちの2首で作者も山名郡と言うことで袋井にゆかりの歌といえます。

大庭のホームページ
皆様からのご意見お待ちしています。
■Ｅメール　ohba@mxu.mesh.ne.jp　**大庭みちよし**　検索

発行所 大庭通嘉後援会
事務所 〒437-0055 袋井市土橋187
TEL090−2138−9220
FAX 0538−42−1925

大庭通嘉後援会ニュースは自費によるもので公費（政務活動費）は使っていません。